

リベラル鈴鹿 水谷 進 議員

高齢者の社会参加について

(質問) 元気な高齢者の方々の社会参加を社会全体の活性化に役立てて頂けるような仕組み作りや取組みを急ぐ必要があると思うが。

(答弁) 市内を取り巻く環境は少子化、若者世代の流出、人口減少等から高齢化が進行し高齢者も増加している。また、一方で、地域には様々な特技を持ちながら、仕事を退職した後能力

を発揮する場がなく余暇を持て余している人々が沢山いる。

今後とも、本市が持続的に社会を活性化させるには、これまでの豊かな経験値により培われた技術や能力を持った高齢者の方々の社会参加が不可欠だと考える。

次の時代を担う方々と経験豊かな高齢者が、さまざまな形で融合して参加・活躍できるように、人材の発掘、育成、登用の重要性について等をしっかりと考え取り組んでいきたい。

リベラル鈴鹿 青木 啓文 議員

地方公会計の導入について

(質問) 地方公会計導入に当たっての経緯、取組み及び効果について。

(答弁) 各自治体が採用する地方公会計が混在していたため、全ての地方公共団体に対して平成27年度からの3年間で、複式簿記を前提とした統一的な基準による財務書類等の作成が要請された。これにより本市は、順次国から提供さ

れるソフトウェアとの連携をはかり地方公会計の整備に取り組んでいく。まずは、それに必要な固定資産台帳を整備する上で不足する情報の整理、調査項目の洗い出しを行い、入力すべきデータを収集していく。複式簿記の導入の効果としては、単式簿記では把握できなかった情報が補完され、財務情報の分かりやすい開示が促進されること、本市の財政状況が多面的かつ合理的に明らかとなること、他団体との比較もできるようになることなどが考えられる。

公明党 池上 茂樹 議員

地方創生の推進について

(質問) 地方創生に関する交付金について、使いみちや制度の概要を問う。また、本市への交付額はどれぐらいか。この交付金でプレミアム付き商品券を発行し消費喚起を促すべきと考えるがどうか。

(答弁) 国の平成26年度補正予算に係る「地域住民生活等緊急支援のための交付金」については、本市に約2億7,000万円が交付される予定である。

この交付金は「地域消費喚起・生活支援型」の交付金約1億8,400万円と「地方創生先行型」の交付金約8,700万円の2種類があり、その用途について交付の目的にかなうものならば、自由に事業設計ができる。本市においては、地域の消費喚起や生活支援を目的とし、額面より1割から2割程度のプレミアム分が乗った「プレミアム付き商品券」の発行について、効果・必要性等を商工会議所や商業団体等と連携し協議調整を行っている。

その他の質問 ○空家対策について

すすか倶楽部 後藤 光雄 議員

伊勢型紙の将来について

(質問) 市の財産でもあり、窓口の一本化をお願いしたいと思う伊勢型紙であるが、伝統産業会館に関わる産業振興部、伊勢型紙資料館に関わる文化振興部、それぞれ伊勢型紙の技術・文化を守り伝えていく為に、今、しなければならないことは何だと考えるか。

(答弁) 文化振興部としては、伊勢型紙技術保

存会が、国庫補助事業として取り組む、技術を継承する人材の育成、技術の保存に不可欠な原材料と用具の確保、そして文化財としての価値の維持に国・県・市が一体となり支援をしている。

産業振興部は、産業として生業が継続・発展していく為には、高度な技術を要する型紙を複製し展示・啓発に活用した販路拡大と、後継者の育成が急務と考え、彫刻士の後継者育成から伝統工芸士の育成に取り組んでいく。

その他の質問 ○学校の土曜日授業の実施について